



デザインは、
生活そのもの。
デザイナーは、
自分の生活が
しっかりしていないと
良い仕事はできない。

宮城壮太郎 語り継ぐデザイン

小海町制施行70周年記念展覧会

Koumi - machi 美高小
Kou gen 術海
Museum of Art 館原町

主催＝小海町高原美術館 [小海町立]

後援＝長野県／長野県教育委員会／信濃毎日新聞社／SBC信越放送
NBS長野放送／TSBテレビ信州／abn長野朝日放送／FM長野

2026年6月13日[土]—8月30日[日] 小海町高原美術館



hmnyのデザインスケッチ『僕が持たいモノ』2005年



配送用紙袋 2000年頃[アスクル]



フラットかるヒット60 2009年[プラス]

小海町高原美術館では、小海町制施行70周年を記念し、デザイナー宮城壮太郎の生誕75年、没後15年の展覧会を開催します。宮城壮太郎は1951年東京に生まれ、74年千葉大学工学部工業意匠学科を卒業、浜野商品研究所に入社、環境計画部ディレクターとして、地域計画から商業施設企画、建築計画、インテリアデザイン、商品企画、プロダクトデザインまで幅広く携わりました。88年宮城デザイン事務所設立、98年には長野県軽井沢町に軽井沢スタジオを開設し、東京と長野県の2カ所を拠点に活動を開始します。企業のデザイン顧問やデザインディレクターとして企業文化の革新に成果をあげ、オフィスや研究所を企業理念と働く人の目線で計画するなどその仕事は拡張していきます。2011年に60歳という若さで逝去されますが、宮城がデザインした製品は今も私たちの生活を豊かにし、デザインとは何かを問い続けています。

本展では、長野県との関りや、パーソナルな部分にもスポットをあて、宮城壮太郎の幅広い仕事と思考を紹介します。



軽井沢スタジオ(撮影:宮城壮太郎)

2026年6月13日[土]—8月30日[日]

小海町高原美術館

開館時間=9:00~17:00[最終入館 16:30]

休館日=火曜日[8月4日・11日は開館]

入館料=一般:500円[20名以上の団体は400円] 高校生以下無料

◆関連プログラム

◎オープニングセレモニー 6月13日[土]14:00~15:00

Bar MIYAGI 15:00~16:30

(参加費:1,000円/場所:美術館内カフェ花更紗)

◎こうみ夏至祭 & Bar MIYAGI 6月20日[土]10:30~16:00

(参加費無料/飲食費有料/場所:美術館中庭)

◎学芸員によるギャラリートーク

| 7月19日[日] | 8月8日[土] | 8月30日[日] | 各回14:00~

お問い合わせ=小海町高原美術館

長野県南佐久郡小海町豊里5918-2 〒384-1103

Tel:0267(93)2133 Fax:0267(91)3011

Mail:bizyutukan@koumi-town.jp

<https://www.koumi-museum.com/>



バイオライト 1986年[旺文社]販売終了



バームハウスガラス・フルール 2010年[チェリーテラス]

